

岐阜県と岐阜大学による連携活動【概要】

連携活動の3つの柱

地域食材等を活かした 研究開発 の推進

- ◆ 地域食材を活かした機能性食品開発研究プロジェクトの推進
- ◆ 高度な機能性評価機器を活用した成分評価・分析体制の強化

食品・ヘルスケア関連企業等の 支援体制 の拡充

- ◆ 機能性食品対応や商品開発支援を実施する食品開発プロモータ設置
- ◆ 技術者・研究者・経営者らが集う応援サロンの開催

実践的教育・人材交流による 専門人材育成 の推進

- ◆ 高度な技術系人材の地域内における育成
- ◆ 食品加工・製造など実践的教育カリキュラムの強化
- ◆ 学位取得など社会人技術者への知的支援の推進

連携拠点の機能・役割

岐阜県食品科学研究所(仮称)

研究開発、依頼試験などの食品関連企業支援に加えワンストップ窓口による総合支援機能を強化

岐阜大学食品関連地域連携施設(仮称)

産学官共同研究や、学生に対する実践的教育などを推進

連携

岐阜大学

応用生物科学部や、研究推進・社会連携機構など学内各部

- ・ 岐阜大学敷地内（応用生物科学部の隣地）に食品分野の総合支援拠点として岐阜県食品科学研究所（仮称）を整備
- ・ 施設の一部を岐阜大学食品関連地域連携施設（仮称）として連携活動を推進

食品分野の総合支援拠点 ～ 全国で初めて公設試験研究機関を国立大学法人内に設置 ～

岐阜県食品科学研究所(仮称)の整備



応用生物科学部

岐阜県食品科学研究所(仮称)

食品科学研究所は、地域食材等を活かした研究開発の推進、食品・ヘルスケア関連企業等の支援体制の拡充、実践的教育・人材交流による専門人材の育成推進の3つを柱に、岐阜県と岐阜大学が連携して活動する食品分野の総合支援拠点です。



食品開発支援体制の強化

- ◆機能性食品開発における技術開発強化
- ◆食品関連企業ニーズに対するフルサポート体制の構築



実践的教育による社会貢献

- ◆食品加工・製造などの実践的教育カリキュラムの強化
- ◆学位取得など社会人技術者への知的支援の推進

3F



共同研究ゾーン ～地域食材等を活かした産学官共同研究の推進～

産学官が一体となり食料品分野の技術競争力の強化を図るため、食料品の付加価値向上や新たな機能性食品開発を実施



機器分析ゾーン ～高度な機能性評価設備の充実～

食品中に含まれる各種成分や、食品から発するガスや香気成分の分析を実施



研究開発ゾーン ～食品の新たな機能性を発掘～

食品の機能性(抗酸化、抗老化、抗アレルギーなど)成分の分析から、機能性食品の試作加工までを実施



微生物利用ゾーン ～微生物を利用した有用成分の開発～

食品の微生物検査や微生物の増殖試験のほか、簡易的な動物細胞の培養・観察や、酵母や乳酸菌などの有用成分の探索を実施



醸造・発酵ゾーン ～新たな清酒ブランドの開発を支援～

清酒などの醸造・発酵試験や、鑑評会などを実施する官能試験、試作品の分析や評価などを実施



試作・加工ゾーン ～食品試作から加工実習に活用～

レトルト殺菌装置や燻製器、乾燥機等による食品の試作加工や、企業の方を講師に招いた学生に対する実践的な食品加工実習などを実施

2F



1F

